

# 瀬田川プランクトン調査結果速報

滋賀県立衛生環境センター  
琵琶湖水質担当  
平成10年7月6日 第14報

## 植物プランクトン

(綱) 種 名	細胞数 (群体数)	優占種(占有率)	
		数	体積
(藍) <i>Aphanothece clathrata*</i>	160	○	
(藍) <i>Anabaena</i> sp.*	1		
(珪) <i>Melosira granulata</i>	9		
(珪) <i>Stephanodiscus carconensis</i> var. <i>pusilla</i>	5		
(珪) <i>Attheya Zachariasii</i>	5		
(珪) <i>Fragilaria crotonensis</i>	54		
(珪) <i>Nitzschia</i> sp.	5		
(褐) <i>Cryptomonas</i> sp.	20		
(褐) <i>Rhodomonas</i> sp.	380	◎	
(緑) <i>Oocystis</i> sp.	80		
(緑) <i>Pediastrum biwae</i>	32		
(緑) <i>Coelastrum cambricum</i>	70		
(緑) <i>Mougeotia</i> sp.	3		○
(緑) <i>Staurastrum dorsidentiferum</i> var. <i>ornatum</i>	3		◎
(藍) 藍藻綱	161	19.5	16.2
(黄) 黄緑藻綱	0	0.0	0.0
(黄鞭) 黄色鞭毛藻綱	0	0.0	0.0
(珪) 珪藻綱	78	9.4	9.0
(渦) 渦鞭毛藻綱	0	0.0	0.0
(褐) 褐色鞭毛藻綱	400	48.4	18.7
(み) みどり虫藻綱	0	0.0	0.0
(緑) 緑藻綱	188	22.7	56.1
(他) その他のプランクトン	0	0.0	0.0
総 細 胞 数	827	総体積 ( $\mu\text{m}^3$ )	5.27E+05
種 類 数	14		

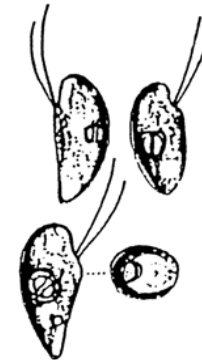
- 注1) 細胞数の単位は(細胞/ml)  
ただし\*印の種は群体数(群体/ml)  
注2) 優占種は◎が第1優占種、○が第2優占種  
数字は各綱ごとの占有率(単位:%)  
注3) 細胞体積は、顕微鏡観察による画像から  
試験的に推定した概算値である。

## 植物プランクトン優占種

第 1 優 占 種		細胞数 (細胞数/ml)
褐色鞭毛藻綱	<i>Rhodomonas</i> sp.	380

第 2 優 占 種		細胞数 (細胞数/ml)
藍藻綱	<i>Aphanothece clathrata*</i>	160

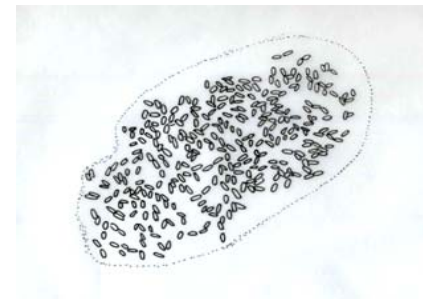
### 植物プランクトン第1優占種



***Rhodomonas* sp.**  
(ロドモナス)  
褐色鞭毛藻綱

細胞は、長楕円形で長さが約10 $\mu\text{m}$ と小型であり、葉緑体は少し赤みを帯びている。  
2本の鞭毛を有する。

### 植物プランクトン第2優占種



***Aphanothece clathrata\****  
(アフアノテーケ)  
藍藻綱

細胞は、長楕円形で長さ3.5~4.5 $\mu\text{m}$ 、幅0.6~0.2 $\mu\text{m}$ 。非常に多数の細胞が寒天質の中に集まり、群体を作る。群体はいろいろな形がある。琵琶湖では北湖で夏秋に多く見られる。